

大 建 国 県 第 5 号

平 成 15 年 1 月 2 7 日

淀川水系流域委員会

委員長 芦田 和男 様

大津市長 山田 豊三郎

淀川水系流域委員会の提言について（意見）

時下、貴殿におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この1月17日に発表された「新たな河川整備を目指して」の提言を拝
読しました。

昨年、貴殿から中間とりまとめに対して意見照会を受け、市政を預かる者とし
て特に再三の被災を経験していますことから、大戸川ダム建設事業の必要性を訴
えてきたところです。

また、この提言をまとめるにあたり、中間とりまとめに対する本市の意見をど
うご理解いただいているのか疑問であります。

改めて、繰り返し申し上げますが、大戸川は、上田上地域に過去に幾度となく
氾濫を起し甚大な被害をもたらしてきました。

このことから、治水上、早期解決が必要であり、ダム建設が最適工法と判断し、
国土交通省に今日まで協力をしてまいりました。

とりわけ、水没地域となる大鳥居町の住民は、1,300年の歴史ある故郷を
すて、大変な犠牲を払って移転していただき、その移住地は、県事業としての事
業予定地を変更していただき、本市が移転地の造成工事を進めてきました。

上田上地域の住民はもとより大津市民すべてが、平成15年度も引き続き事業
を推進され、一日も早い大戸川ダムの完成を願っております。

つきましては、大戸川ダムは、治水上早期建設を望むものであり、本市のこの
ような状況について、充分ご認識いただきますようお願い申し上げます。